

孤独死
防止

緊急通報システムの改善を提案

平野市議に、市民から次のような要望が寄せられました。

平野市議に寄せられた市民の声
佐伯市で一人暮らしをしていた親が倒れたが、佐伯市の安否確認システムに登録していたおかげで、身内に緊急連絡があり、孤独死にならずに身内でみとることができた。佐伯市には心から感謝している。別府市でも同じシステムを採用してほしい。

佐伯市のシステムとは

毎朝、登録した時間に安否確認の電話があり、出なければ身内などに緊急連絡があるシステム。

平野市議が、別府警察署で別府市の孤独死の実情を問いあわせると、次のような回答がありました。

対応してくれた刑事さんの話

「孤独死」の定義は定まってない。昨年の別府市での死後発見件数約 200 件のうち「65 歳以上の単身者」は 72 件だった。

人口が 4 倍の大分市でも、別府市の 3 分の 2 程度なので、別府市は異常に多い。なかには、まだ温かいご遺体や電話に手を伸ばしたまま亡くなっていた方もいた。

こうした可愛そうな方が少しでも減れば、警察としても大変ありがたい。

倒れた本人が緊急ボタンを

押さなければ、役に立たない

別府市のシステム

別府市の緊急通報システムは、制度が始まって 20 年経ちますが、倒れた本人が通報しなければ外部との連絡が取れないシステムです。佐伯市や日出町のシステムは、本人が押す「緊急ボタン」と、登録された時間に電話がかかり、本人がでなければ身内など登録された方に緊急連絡がいく「安否確認システム」の両方があります。

市当局が現行システムの

欠陥を認め、改善を約束

平野市議は、「別府市の高齢化率は 30% を超えた。死後数カ月経ち、すでに腐敗していたという事例もあった。ただちにシステムを改善すべきだ」と求めました。

市当局も「毎日の見守りという点では他市に比べて劣っている」と認め、「今後より効果的な事業にしていく」と答弁しました。

来年度から改善されるのかどうか、市民みんな注目していきましよう。

日本共産党別府市議団

市議会議員 平野文活 えんど久子

2014 年 6 月 20 日

住所 別府市石垣西 8-2-31

電話 0977(22)6576

NO, 608

げんきニュース

「サービス付き高齢者向け住宅」でトラブル

家賃 3.5 万円で募集、 入居したら 9～10 万円に値上げ

あるマンションの方から、次のような苦情が寄せられました

- ◇昨年 3 月、家賃 3.5 万円で募集があった。
- ◇10 月に入居を申し込んだら「4.5 万円に変更する」と言われた。
- ◇今年 3 月、「4 月からは 5.5 万円、平成 28 年 10 月からは 7 万円にする」と連絡があった。
- ◇4 月に入居したら「4 月から 7 万円」にすると言われ、住民から「詐欺だ、おかしい」の声が。
- ◇同じ 4 月、さらに「6 月までは 5.5 万円、来年から 9～10 万円にする」と文書で通知があった。

市としても調査を

—— 平野市議が要求 ——

平野市議は「この高齢者向け住宅は、国の補助（一戸百万円）や税の優遇を受け、県が認可している。行政としても責任がある。市としても調査をすべきだ」と要求。市は「県に連絡して対処する」と答弁しました。

別府市にも 市営納骨堂を!

市は「建設を検討する

時期にきている」と答弁

市民から平野市議に「大分市のような納骨堂が別府市にもほしい」との要望が寄せられました。早速、大分市を視察し、6 月議会できりあげました。これに対して市当局は「お墓の継承が困難になり、独身者が増えるなど、別府市としても建設を検討する時期にきている。建設の際には、焼骨機能も検討する。」という答弁がありました。



大分市営納骨堂（今年 4 月オープン）

建設予算約 1 億 8 千万円、
直接参拝壇（30 年契約、40～50 万円）は、募集に対して 5.1 倍の申し込みがあったという。